

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼株式会社	社内で出来るエコに対して、従業員全員が考えを深めております。今後もエコに取り組んでまいります。
第19-0003号 (株)ワイ・ケー電子	新しい社員が入社しましたが、省エネやリサイクルと一緒に社員一人ひとりが確認や関心を持ち、環境負荷低減活動を継続することで社員一丸となって取り組んでいます。
第19-0005号 (株)横浜製作所	R4年度も廃棄物の排出量、電気の使用量ともに微量ではありましたが昨年度に引き続き減少しました。今年度は家庭の電気料金の高騰など節電に関しては身近に感じ従業員の節電意識もより高まってきています。また事務棟のLED照明も取付時から10年以上が経過し交換時期となりました。コストはかかりますが、消費電力も発売当初より削減されています。引き続き電気の使用量の削減など環境負荷の低減を目指し活動してまいります。
第19-0008号 (株)ラテン大和	前年度に比べると市場回復の兆しがあり、新商品の発売も手伝って生産量もふえました。それに比例して電気、ガス、ガソリンの使用量も増え、エネルギー削減目標は大幅に未達となりました。(新商品の試食会、案内での長距離移動が増) 社内の緑化に関しては、緑地はこれ以上増やせない為(スペースの問題)、ハーブ等植える種類を増やす、社内の観葉植物鉢植えを増やす等の取組みに変更しています。 長年の目標である太陽光パネルの設置は、見積りを取ったものの直ぐに取り掛かれず、時期をみながら進めていきたいと思っております。
第20-0002号 (株)メイコー	昨年度も引続き新型コロナの影響もあり、生産状況の変動の大きく、電気、ガス等の効率的運用も難しくありましたが、廃棄物に関して、選別精度の向上に注力することで、昨年度に引き続き成果を得ることができました。今度も地道に対応を続け、環境負荷低減に取り組んで参ります。
第20-0003号 (株)東牧土木	社員全員が常に環境意識をもって取り組むことができました。今年度も環境の向上に努めます。
第20-0004号 (株)ネエチア	事業所内の照明設備をほぼすべてLEDにし、電気使用量の大幅削減に至ったが、電気料金が高騰しており利用料としては想定していたほどに削減には至らなかった。 コピー用紙など印刷に使用する用紙は再生紙利用だが、カタログ等は再生紙ではない為、今後検討したい。 低公害車の導入をリース時に順次入替を実施している為、今後も継続していきます。
第20-0005号 (有)青柳商店	出来る事は少ないですが、可能な限り環境配慮を意識して取り組むように努めました。
第20-0007号 (株)栄和産業	昨年に引き続きコストの低減、リサイクル化、節電を考える取組を行っています。電気使用量を確認するなど、環境負担の低減、環境の向上に努めていきたいと思っております。環境意識を高めるため、全従業員で周知・共有し今後も更に環境への取組を積極的に行っていけるようにしたい。

<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>令和4年度も継続して、可燃ごみの中から燃料化処理を実行し、事業者、周辺自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化（SRF製造）を推進致しました。結果、前年度は12,404トン再生固形燃料として販売し、発電所で利用していただくことができました。また、重油換算では8,670kLの化石燃料の削減につながりました。他、電気自動車、燃料電池車の運用、省エネ運搬車両及び、バッテリーフォークの導入など、環境負荷低減につながる施策を実施致しました。コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻など、世情厳しい中でしたが、本年も引続き持続可能な社会実現に向けて、廃棄物の再資源化を推進し、地球温暖化対策を積極的に実行致します。</p>
<p>第21-0001号 株式会社KYOEI</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続きペーパーレスの取り組みを実施。印刷されていない部分に印刷し、再々利用をするなどコピー用紙を徹底的に削減しています。共通のフォルダにPDFを入れ、印刷せず内容を確認するように心がける。 ・引き続き節電を呼びかけ、電気の使用量を削減。 ・発送する際の梱包資材を再利用し、資材の購入を控える。 <p>以上のことに取り組みました。 成果が目に見える方が長く取り組むことができるので、前年よりも良い結果に結びついたのではと感じています。</p>
<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>会社全体で一人ひとりが意識して取り組むことができました。今後更なる環境の改善に努めて参ります。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業株</p>	<p>焼却灰は燃え残りや湿って固まってしまった灰を再度ゴミと混ぜて焼却する事で軽量化し、発生量を削減。今期は動植物性残渣の排出量も抑えられた為、資源化率も向上して例年の数値近くまで戻っております。製造量の影響もありますがCIP見直しや節水等の啓蒙活動、代替フロン冷凍機設備へ更新及び設定温度の見直し、ボイラー設備の更新及び運転制御の見直しといった省エネ活動にご協力いただきまして、電気、燃料、水の使用量を削減することに繋がっています。</p>
<p>第24-0003号 株川崎製作所</p>	<p>社員全員で、常に資源の節約意識が保てているハード（設備）の更新等も検討しながら、エコアクション21で行っている活動を維持していく。</p>
<p>第24-0005号 株中電社</p>	<p>資源循環、有効利用を重点課題として取り組み、6年間継続しています。廃棄物の排出抑制とリサイクルを主に、建設工事現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進してきました。デジタル化の普及でコロナ禍以降、ペーパーレス化が更に加速したと感じています。今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続してまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量の削減を目標としました。紙の購入枚数は削減できましたが、電気の使用量は増加となってしまった。</p>
<p>第25-0003号 株高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が皆で社内の整理、整頓及び清掃を行い、在庫等が過剰にならぬよう常に気を配ることで環境保全に取り組んだ。（在庫管理、発注管理を強化することで無駄な資材がなくなり廃棄が減となる。）</p>
<p>第25-0004号 株パレドモンパル</p>	<p>昨今のエネルギー問題や物価高騰を受けて、よりエコや資源について考えるようになりました。ひとりひとりが小さな事も、心がけて取り組めるよう変わってきたと思います。これからは、今まで以上に気を配ってまいります。</p>

<p>第26-0001号 エムケーチーズ株式会社</p>	<p>今年度はエネルギー費、物価類の高騰もあり、省エネルギー、省資源をいつも以上に意識し、従業員ひとりひとりの環境へのレベルを高める為多くの環境教育を実施しました。今後も継続的に取り組んでいきます。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工㈱</p>	<p>取り組み成果を具体的数値であらわすことは難しいが、1年間各部門一丸となり取り組むことができました。 来年はもっと多くの取り組みをできる様努めてまいります。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル㈱相模事業所</p>	<p>排出排油量の削減は目標達成できたが、LPガス使用量はあと一步のところ で未達に終わってしまった。</p>
<p>第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。令和4年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO₂排出量の削減に努め、エネルギー原単位は約2.8%減少、電気使用量も0.3%減少しましたが、CO₂排出量としては約1.9%増となりました。今後も継続して、環境に配慮した取り組みをより一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学㈱</p>	<p>従来より、取り組んできた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ ㈱相模工場</p>	<p>社員全員が常に環境意識を持って取り組むことができました。 コロナ禍においても昨年末からホテルの稼働が急に高くなったままで忙しくなりましたが取り組みました。今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第33-0001号 ㈱藤井工務店</p>	<p>当社は令和3年9月に登録を行い取り組んでいる。達成基準は低い結果は出していると思う。また令和4年5月には「かながわSDGsパートナー」へも登録し、環境対策の強化に取り組んだことにより社員の環境への意識も変わって来たと思う。 さらに今年は住宅省エネ支援事業所の登録をし、お客様へ住宅省エネの提案を行い省エネ化に向けた設備の取り組みを推奨し申請している。</p>

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第19-0001 橋本鉄鋼株式会社	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を削減する。	600枚
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	エコカーの使用を進める。	33%
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を削減する。	WEBによるテレワーク・生産管理システム・メール・裏紙使用、紙使用量が減少した。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	リサイクル促進。	ごみ等の分別とリサイクルを進めた。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用における削減量 昨年度より1000kw
第19-0005号 ㈱横浜製作所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙・金属缶、ガラスびん等、分別回収ボックスを適正に配置することにより、ごみの分別を徹底する。	大変よくできた
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	食べ残しや食品の残りは可能な限りコンポスト化して利用する。	大変よくできた
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙等の紙類について再生紙や環境に配慮した製品への転換を進める。	大変よくできた
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気の使用量を把握し、削減する。	大変よくできた
第19-0008号 ㈱ラテン大和	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数 昨年度比：20,000枚増 (売上増、新商品宣伝)
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	紙の再利用、電池回収BOXを設置&充電式電池の使用で、リサイクルを進める。	事業系廃棄物に資源化率：15%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を促進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：100%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率：80%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：50%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリング・ストップ等、エコドライブを実施する。	エコドライブの実施率：100%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用における削減量(昨年度比)：0%(ほぼ同量の使用)
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。	敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	緑地面積：2㎡
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	悪臭、騒音、振動等の防止対策を講じる。	悪臭、騒音、振動等の対策を行う。	工場内外の側溝排水溝を隔週の清掃実施。 製造量が多い週、夏期は回数を増やしている。 浄化槽の定期点検・清掃の実施(業者による)
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	悪臭、騒音、振動等の対策を行う。	電気使用における削減量 昨年度比：50kw増
	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	悪臭、騒音、振動等の対策を行う。	LPガス使用における削減量 昨年度比：70L増
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	悪臭、騒音、振動等の対策を行う。	灯油使用における削減量 昨年度比：280L減
	地球温暖化防止対策等	給湯設備を適正利用する。	悪臭、騒音、振動等の対策を行う。	ガソリン使用における削減量 昨年度比：300L増
	第20-0002号 ㈱メイコー	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	金属、プラスチック類等の選別精度を向上し、原料としてリサイクル可能な品目を拡大することで廃棄物の削減を進める。
廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理		生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産工程で発生する廃棄物のリサイクルを推進する	資源化率：100%
省資源等		節水等を行い環境に配慮する。	工場内用水使用量を把握することで、使用量を適正化する。	全用水使用量削減率 前年度比：-7.5%
第20-0003号 ㈱東牧土木	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	エコドライブの実施率：35%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリングストップ等、エコドライブを実施する。	使用量における削減量(昨年度比)：-350L
第20-0004号 ㈱ネエチア	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を利用する。	再生紙の使用率：65%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：3台
第20-0005号 ㈱青柳商店	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年度比500枚の削減。 裏紙を積極的に活用。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率：75%
	地球温暖化防止対策等	給湯設備を適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量 昨年度比：187L減
第20-0007号 ㈱栄和産業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	大変よくできた。 新しい用紙を購入せず裏紙等を使用し年間の紙の使用率を減らすことが出来た。 その他、ペーパーレスを意識しデータでやり取りを行っている。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	大変よくできた。 種類ごとに箱を設置し誰が見ても分かるように工夫した結果、しっかりと分別されていた。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトーパー等に再生紙を使用する。	大変よくできた。 紙等は再生紙の物を購入するように努めています。

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	冷暖房設備等を適正管理する。	できた。 必要のない場所は消す等の呼びかけや掲示を行い、暑い場合は一度窓を開け空気の入れ替え等工夫した。
第20-0008号 ㈱タズミ	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	廃棄物管理票（紙マニフェスト）と電子マニフェスト化 発行枚数：電子化率50.5% ペーパーレス化に向け、各種伝票を電子化中。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙は、原則再生紙を継続中
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	そのほか、環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	グリーン購入率 60.2%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	営業車で日産電気自動車；リーフトヨタ燃料電池車；ミライを運用中
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	廃棄物収集運搬車：平成27年度燃料基準達成率66.7% 燃料全車両 4.3km/L
	製品の開発・設計等における環境配慮	環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。	環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。	化石燃料代替商品（再生燃料の製造販売） 12,404トン/年達成。CO ₂ 排出抑制量24,697トン-CO ₂ 、HPに環境経営レポート公表
第21-0001号 ㈱KYOEI	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量・購入数を削減する カラー印刷の抑制	共通のファイルにPDFをアップすることで、印刷枚数を削減。それにより、印刷のカウント数が減り、支払額も削減することができた。昨年同時期△2,286カウント
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備を適正管理する	節電の呼びかけ。設定温度や時間差でエアコンをつける、使用開始のタイミング、終了時間のルールを作成。昨年度同時期30%減 △4,464kWh
第22-0001号 ㈱紺野企業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	4%の削減
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	事業系廃棄物の資源化率：100%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	節電、事務・工場にて不要な電気使用を控える。	10%削減
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリングストップ等エコドライブを実践する。	みまもりくんの導入により改善
第22-0002号 横浜乳業㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	埋立行産業廃棄物（焼却灰）の発生抑制。	埋立行産業廃棄物削減量55kg （21年度発生量275kg→22年度発生量220kg） 昨年度比80.0%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	生産工程で発生するゴミのリサイクル化。	事業系廃棄物の資源化率97.1% （21年度資源化率91.2%）
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用削減量 87,939m ³ （21年度使用量1,143,337m ³ →22年度使用量1,055,398m ³ ）昨年度比92.3%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	機器更新等、省エネ活動による電気使用量の削減。	電気使用削減量1,213,583kWh ※発電量含む（21年度使用量20,503,345kWh→22年度使用量19,289,762kWh）昨年度比94.1%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ボイラー設備の更新、運転制御見直し。	都市ガス使用削減量 227,082m ³ （21年度使用量5,442,451m ³ →22年度使用量5,215,369m ³ ）昨年度比95.8%
第22-0003号 ㈱川崎製作所	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気・ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。（LED導入他）	CO ₂ 排出量 昨年45957→本年度33743に改善。
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する	冷却装置の使用、洗浄に使用する水の節約 昨年4775m ³ →本年度3792m ³
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	環境マネジメントシステムを導入する	エコアクション21を継続して維持する
第24-0005号 ㈱中電社	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	使用済み用紙の裏面をメモ用紙として再利用している。PCによるFAX受信、見積・請求書等のペーパーレス化で紙の購入枚数を削減している。	紙購入における削減枚数（昨年度比） A4サイズ：500枚
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生する事業系廃棄物のリサイクルを推進する。	廃棄物の資源化：90%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙やトイレットペーパー等に再生紙を使用している。	再生紙の使用率：100%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	燃費基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：1台
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。	コンクリート塊、残土等のリサイクルに取り組む。	建設副産物の資源化：100%
第24-0006号 ㈱かなしんオフセット	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数（昨年度比）： 8,500枚
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用における増加量（昨年度比）： 2,230kW
第25-0003号 ㈱高座豚手造りハム	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	環境に配慮した物品等の購入、使用推進	植林バルブ等かんきょうに配慮した紙の使用
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	トナーカートリッジを全てリサイクル品にした。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備交換	LED化
第25-0004号 ㈱パレドモンパル	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	再生紙の使用を推進する。	トイレットペーパーにおいては、再生紙の使用率100%です。
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。（アイドリングストップ、エコドライブ）	配達時のエコドライブ実施
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備を適正管理する	無駄な照明をなくし、電気使用量を削減

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第26-0001号 エムケーチーズ(株)	省資源等	雨水等を再利用し環境に配慮する。	水の使用量を把握し削減する。	使用量周知、節水呼びかけ等 削減量 昨年度比約2,350t
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ガスの使用量を把握し削減する	都市ガス使用における削減量 昨年度比117,620m ³ (蒸気漏れ対応、使用の見直し効率化)
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	EMS内環境教育の充実	省エネルギーや産業廃棄物等月毎にテーマを選定し、従業員教育を実施。
第26-0004号 大平食品加工(株)	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用数削減のため、発注をFAXからメールに変更	取引先からの要望でFAXをメールに全て変更することはできませんでしたが来年も継続して進めてまいります。 FAX→メール変更の月平均件数 50件/月
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備のLED化	今期の結果は予算の都合で見送りました。来期に水銀灯18機を更新する予定。
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	社用車の削減	2台→1台
第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	排出排油量を削減する。	目標を達成できた。
	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	L P ガス使用量を削減する。	目標値+1.1%で目標未達生産原単位としては目標達成
第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	省エネ対応製品を購入、または更新する。	LED照明化 (650台) 省エネ型空調設備への更新 (7台)
	地球温暖化防止対策等	特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	業務用機器の冷媒を適正に管理する	回収したフロン (51件、151.1kg)
第26-0009号 日本蛍光化学(株)	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	よくできた。
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	よくできた。
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	建築物、構築物の環境への影響を予防するための方策を講じる。	老朽化に関する診断、長寿命化を行う。	大変よくできた。
第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	大変よくできた。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kgあたり使用電気量 (昨年度比) : -6%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kgあたりの使用都市ガス量 (昨年度比) : +0.6%
第33-0001号 (株)藤井工務店	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	お客様へ再生可能エネルギーなどの設備提案を行い太陽光発電設備を推奨している。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	分別回収ボックスを配置しゴミの分別とリサイクルを進める。	資源化率70%
	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	省エネ対象製品等の購入又は更新をする。	L E D 照明化506台